

授業科目名	形態と機能Ⅱ	担当教員	教授 橋本 龍樹 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>ヒトの構造と機能に関連づけて学習する。 中枢神経系、末梢神経系、自律神経系、感覚器系、生殖器系、人体発生学、血液について解剖学及び生理学について学習する。 指定した教科書、プリント、模型等を用いて授業を行い、人体の立体的な構造について説明する。</p>					
学修成果（到達目標）					
<p>看護師になったとき、患者様の訴えを正しく理解し、病気の本質を見極めるために必要な知識を習得する事を目標とする。 看護学を学習するために必要な基礎知識を習得し、アセスメントや看護援助の基礎を確立することを目標とする。</p>					
キーワード					
中枢神経系、末梢神経系、免疫、感覚器、人体発生学					
授業の進め方					
<p>講義 実施方式は未定のため、後日通知する。</p>					
成績評価の方法（合否基準）					
対面筆記試験により100点満点のうち60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>教科書：「系統解剖学講座 専門基礎1 解剖生理学」 医学書院 参考図書： 「カラー人体解剖学、構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳 西村書店 「現代の解剖学 改定新版」山田安正著 金原出版 「人体解剖学」改訂42版 藤田恒太郎 南江堂 「からだの構造と機能」 三木明德・井上貴央監訳 西村書店</p>					
オフィスアワー					
質問等随時 E-mail:ryuju@med.shimane-u.ac.jp					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
<p>C-3 生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解 C-3-2)-(3) 循環器系と血液 C-3-2)-(4) 免疫系 C-3-2)-(5) 体内・外の情報伝達と調節機構（神経系、感覚器系、内分泌系） C-3-3) 生命誕生、成長・発達と加齢、ヒトの死 C-3-3)-(1) 妊娠・分娩・産褥 C-3-3)-(2) 成長・加齢による変化</p>					
準備学修に必要な学修の時間					
各講義の中で指示します。					

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ・授業内容	担当者
1	9月29日	10:25~ 12:05	N11	対面	神経学総論	橋本
2	10月6日	〃	N11	対面	中枢神経系1(大脳、間脳)	橋本
3	10月13日	〃	N11	対面	中枢神経系2(中脳、橋、延髄、脊髄)	橋本
4	10月20日	〃	N11	対面	末梢神経系1(頸髄、胸髄からの脊髄神経)	橋本
5	10月27日	〃	N11	対面	末梢神経系2(腰髄、仙髄からの脊髄神経)	橋本
6	11月10日	〃	N11	対面	自律神経系(交感神経、副交感神経)	橋本
7	11月17日	〃	N11	対面	感覚器系1(嗅覚、視覚、味覚、聴覚、平衡覚)	橋本
8	11月24日	〃	N11	対面	男性生殖器(精巣、前立腺、陰嚢、陰茎)	橋本
9	12月1日	〃	N11	対面	女性生殖器1(卵巣、卵管)	橋本
10	12月8日	〃	N11	対面	女性生殖器2(子宮、膣、外陰部)	橋本
11	12月15日	〃	N11	対面	人体発生学1(精子及び卵子形成、受精、胎芽)	橋本
12	1月12日	〃	N11	対面	血液1(血液の組成と機能)	福田
13	1月19日	〃	N11	対面	血液2(生体の防御と免疫系)	福田
14	1月26日	〃	N11	対面	人体発生学2(胎児、胎盤、出産)	橋本

備考